高校生たちが見た

東京の空襲被災樹木展

2008年11月19日(水)~12月27日(土)

開館 水~日曜日12:00~16:00 協力費 一般300円 中高生200円 小学生以下無料 主催・場所 東京大空襲・戦災資料センター 協力 東京都立芝商業高校/唐沢孝一



東京に被災樹木があることを 知っていますか―

東京に空襲を生き延びた被災樹木が、たくさん残っていることを知っていますか。お寺の境内で、公園で、学校の校庭で、木肌を焼かれながら、でも、たくましく枝葉を広げて、じっと町の歴史を見守っています。2007年春から今年の夏にかけて、都立芝商業高校の生徒たちが、都内に残る被災樹木を訪れ、樹木たちの一番新しい姿を個性豊かなレポートに仕上げました。その中から厳選された約50点を、一堂に展示します。木々の語りかける言葉に、ゆっくり耳をかたむけてみてください。

台東区浅草寺境内の空襲被災樹木

もらってきました。

●フィールドワーク 墨田区飛木稲荷~浅草寺~芝公園4号地 11月22日(土) 12:45集合 13:00出発 16:00頃現地解散 集合場所 都営地下鉄浅草線 押上駅改札口出た所(半蔵門線 乗りかえ方面)※徒歩・都営地下鉄で移動します 要予約 電話かfaxでセンターまで 参加費300円(電車賃除く)

●ギャラリートーク12月6日(土)14:00~15:30講演「被災樹木が伝えるもの」(仮題)唐沢孝一氏 元都立高校教諭、被災樹木研究者著書『語り継ぐ焼けイチョウ』(北斗出版)ほか

12月14日(日)14:00~15:30 映像+発表「高校生たちの見た被災樹木」(仮題) 都立芝商業高校の生徒たち 展示レポート原作者

東京大空襲・戦災資料センター

〒 136-0073 東京都江東区北砂 1 丁目 5-4 Tel: 03-5857-5631 Fax: 03-5683-3326 Web: http://www.tokyo-sensai.net/

